

令和3年3月18日

令和2年度の選別審査の結果

(経営管理部総務局法務文書課)

1 歴史的公文書の選別審査

歴史的公文書の選別に関する検討や審査については、静岡県公文書管理の在り方検討委員会の選別審査部会において処理することとされている（設置要綱6条2項）。

選別審査部会は、例年、年1回開催され、委員が出席して対象文書の現物確認を行うなどして、選別の検討や審査を実施してきた。

2 今年度の対応

今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、委員が集合して選別審査部会を開催するのは困難であり、また、オンライン下では、対象文書の現物確認による審査も困難な状況となった。

このため、今年度の選別審査は、実地又はオンライン下の会合は開かず、部会長と協議の上、以下のとおり実施することとした。

- (1) 法務文書課において選別文書リスト（案）を作成する。
- (2) 委員に同リスト（案）を送付して、委員が審査する。
- (3) 委員において、廃棄することに疑義がある文書、現物確認の要望があった文書は審査保留とし（次回開催時に現物確認する。）、廃棄対象から除外する。

以上の結果、対象文書 30,463 冊に対して、1,491 冊を歴史的公文書として選別、28,968 冊を廃棄、4 冊を審査保留として、次回の選別審査部会開催時に現物確認をすることとした。